

北山城跡（第4次） No. 4

所在地：四日市市北山町居林

位置情報URL：[北山城跡位置情報](#)

※工事現場内に所在しており危険なため、平時の立ち入りはできません。

調査が終わりました！！

HPの更新も今回で最後となりますので、第4次調査全体の成果についてご紹介いたします。



【全景写真1：調査区東側より撮影】



【全景写真2：調査区西側より撮影】



【北山城跡で最大規模の竪穴住居】長軸辺9.6×短軸辺8.5m、広さ約50畳にもなります。



【航空写真撮影】

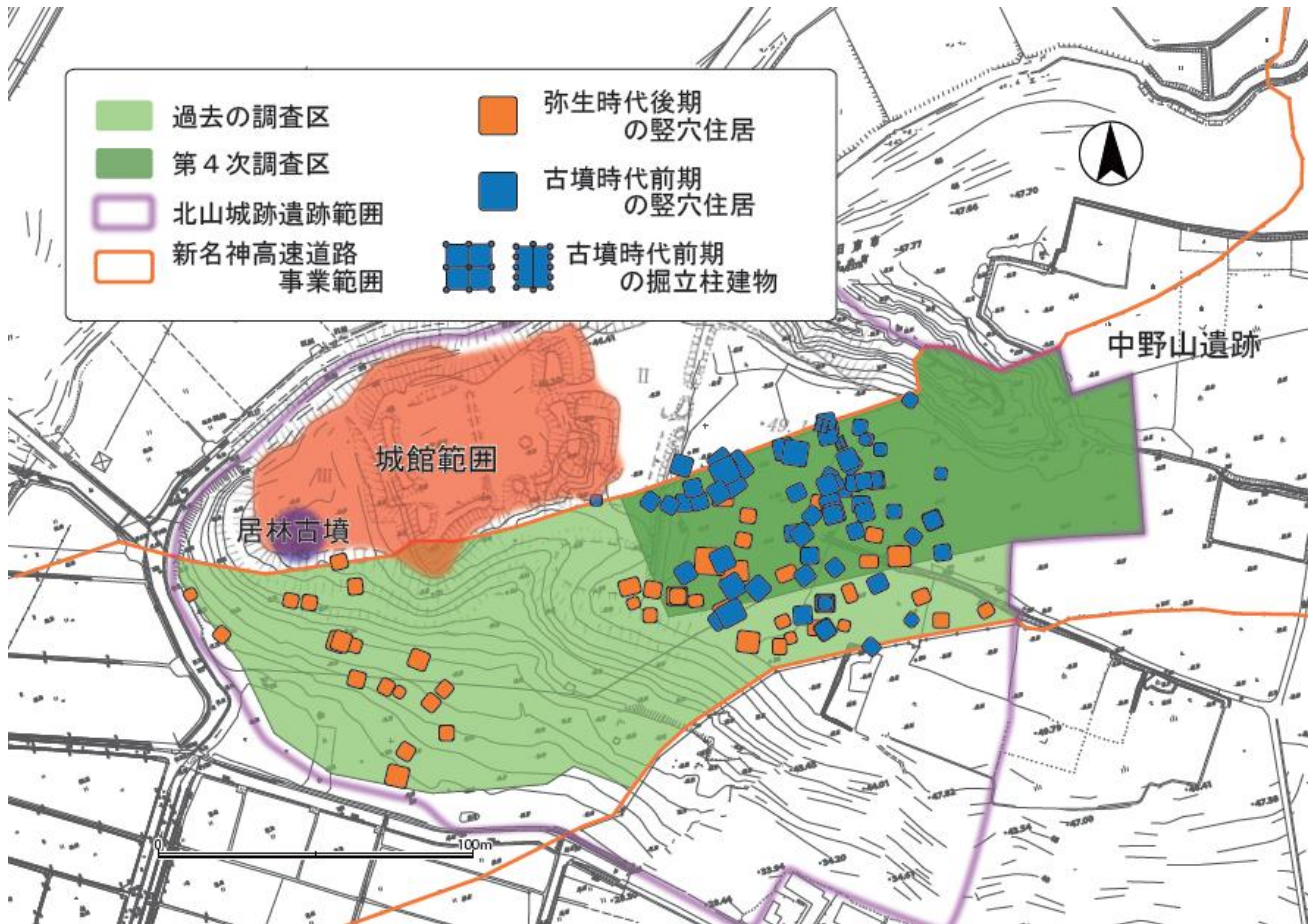
ラジコンヘリコプターにて、空から遺跡の様子を撮影しました。先程の全景写真よりも、さらに遺跡の全体像をみることができます。



【上空約150mからみた北山城跡第4次調査区】太線内が調査区です。



【調査区北東より鈴鹿山脈を望む】奥には完成しつつある新名神高速道路の橋脚もみえます。



【北山城跡調査区内で確認された弥生時代後期～古墳時代前期の集落】

北山城跡では合計112棟の竪穴住居と2棟の掘立柱建物を確認することができました。そのほとんどが、弥生時代後期（1,900年前頃）～古墳時代前期（1,700年前頃）に建てられたものでした。112棟という棟数は、同時代の集落遺跡としては四日市市域で最大級となり、約200年にかけて人々が生活を行った集落と思われます。今年度で北山城跡の発掘調査は終了しますが、北勢地域における弥生時代～古墳時代にかけての歴史を考える上で欠かせない遺跡であることは間違いなく、出土遺物の検討（現地説明会資料を参照ください）や、さらなる調査研究によって地域史の解明に大きく貢献することでしょう。

【問い合わせ先】

三重県埋蔵文化財センター 調査研究3課
 〒512-8064 三重県四日市市伊坂町126-1
 電話番号：059-363-3195/FAX：059-363-3196
 E-mail：maibun@pref.mie.jp